

brother
at your side



OmniJoin

「オムニジョイン」を使いこなすための
オンラインセミナー

ブラザー販売株式会社
マーケティング推進部 加藤書彦
2014年9月26日(金)

本日の予定

第一部 使い方セミナー 予定時間:30分

本日のテーマ:

音声トラブルの原因と対処方法

第二部 質疑応答 予定時間:30分





第一部

音声トラブルの原因と対処方法

音声トラブルとは

音声トラブルには、以下のようなものがございます。

- ・音が全く聞こえない
- ・音がブツブツ途切れる
- ・音が回って何回も聞こえる(ハウリング)
- ・音にノイズが混じる

どこに問題があるか？

オムニジョイン以外の要因も、音声トラブルの原因となる場合がございます。



オムニジョインの設定は正しいか？



インターネットの接続状況は問題ないか？



パソコンや周辺機器は問題ないか？

下から順に確認

問題の切り分け手順①ー1



①パソコンや周辺機器の確認

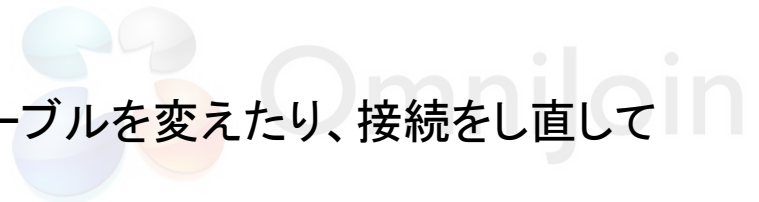
- ・推奨動作環境 <http://www.brother.co.jp/product/wcs/omnijoin/spec/index.htm>は満たしているかご確認ください。
- ・オムニジョイン以外を使用するときに、問題なく音が流れるかご確認ください。
例えば、音楽を再生したとき、接続機器からクリアに音が流れておりますか？
- ・ウイルス対策ソフトやほかのソフトウェアが立ち上がっていないかご確認ください。
試しにそれらの起動を止めても、問題は解決しないかお試しください。
- ・一つのハブに複数のUSB機器が繋がっていませんか？
電源供給や対応帯域の関係で影響が出る場合がございます。
- ・周辺機器が「音声ミュート」や「音量0」になっていませんか？
パソコンの音声設定が「ミュート」になっていませんか？

問題の切り分け手順①ー2



①パソコンや周辺機器の確認

- ・すぐ近くでOmniJoinにログインしている端末はありませんか？
該当の端末のマイクがONになっていませんか？
(近くで複数のマイクがONになっていると、ハウリングが起こります)
- ・CPUやメモリの使用率が極端に高くなっていませんか？
メモリが足りないと、パソコンがスワップ作業(メモリーからハードディスクにデータを書き出す作業)が発生するので、パソコンの動きが急に悪くなります。
- ・シンクライアント端末ではありませんか？
シンクライアントは、動作する際にクラウドサーバーに繋ぎに行くので、その際にデータが欠損し、音が途切れる原因となります。
そのため、音の途切れ等が気になる場合は、
リッチ(ファット)クライアント端末でご使用ください。
- ・USB機器の接続不良の場合がありますので、ケーブルを変えたり、接続をし直してみてください。



問題の切り分け手順①ー3



①パソコンや周辺機器の確認

・ご使用の機器のスピーカの出力やマイクの感度は問題ないですか？
パソコン内蔵のスピーカーやマイクをご使用になられた場合や、
簡易的なイヤホンマイクをご使用になられた場合は、
機種によっては性能が低く、スピーカーから音声がしっかり出ない場合や、
マイクが音声をちゃんと拾わない場合があります。

*もし、ご要望頂ければ弊社純正スピーカーホンを貸し出しさせていただきます。
是非、弊社までご連絡ください。

・(VT-Multi使用時)[VT-Multi用ソフトウェア](#)はインストールされておりますか？

*VT-Multiとは、スピーカーホンVT-1000を複数台繋ぐことです。

専用ソフトウェアのインストールが必要です。



問題の切り分け手順②ー1



②インターネット接続環境の確認

- ・他社のサイト閲覧はできますか？(HTTP/HTTPSで通信可能ですか？)
もし繋がらない場合はインターネット接続そのものに問題があります。
- ・無線LANやモバイルルーター、もしくはテザリングで繋いでいませんか？
その場合は、有線LANに切り替えると改善するかお試しください。
*無線LANその他でも繋げることができますが、
そのときの環境によって、品質が大きく変動いたします。
- ・パソコンや無線子機が、省電力のため自動的にインターネットを切断するような仕様になっておりませんか？
- ・会議室を開いていたとき、ネットワークに障害は起こっていませんでしたか？
社内LANをお使いの場合は、ネットワークが混み合っていなかったか、
管理者にご確認ください。



問題の切り分け手順②ー2



②インターネット接続環境の確認

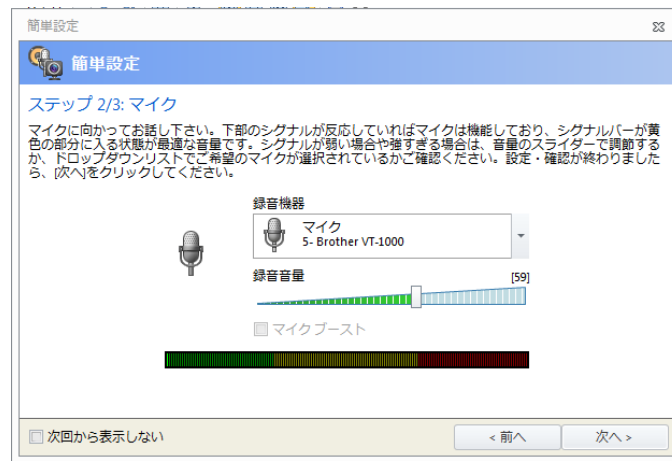
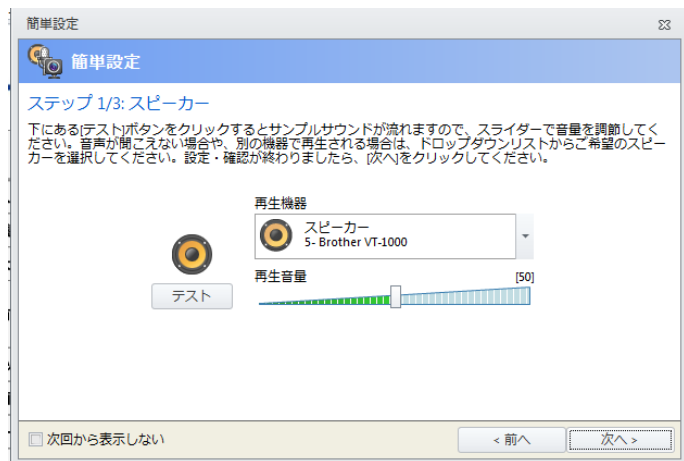
- ・「ネットワーク診断ツール」で低いスコアが出ていないかご確認ください。
(会議室画面の「ヘルプ」→「ネットワーク診断」)
3種類測定し、どこかで低いスコアが出るようなら、ネットワーク接続そのものを改善する必要があります。
- ・複雑なルーター設定をしていませんか？
例えばインターネットへの出口を簡易化するなど、一時的に設定を簡単にした場合、問題が解決するかお試しください。
ルーターを多く経由すると、パケット詰まりの原因となる場合がございます。
- ・必要帯域は確保されていらっしゃるでしょうか？
画像を画面いっぱい引き延ばすと、解像度が上がるため、サーバーから送られてくるデータ量が増えます。
その状態で動画の共有やデスクトップ共有などネットに負荷がかかる操作を行うと、上り/下りとも数Mbps必要となる場合がございます。
画面サイズを小さくしたり、共有を止めることで改善するかお試しください。

問題の切り分け手順③ー1



③OmniJoin設定の確認

- ・OmniJoin会議室自体は起動しておりますか？
具体的には、映像が動いているか、他の拠点はきちんと音が聞こえているか、ご確認ください。
- ・会議室が起動していない場合、もう一度会議室ID(URL)を確認してください。
- ・会議室は起動していてOmniJoin以外では音声が出ている場合、
会議室画面の「音声」タブ→「音声機器設定」を選んでください。
そこで、正しい機器に設定がされているかご確認ください。

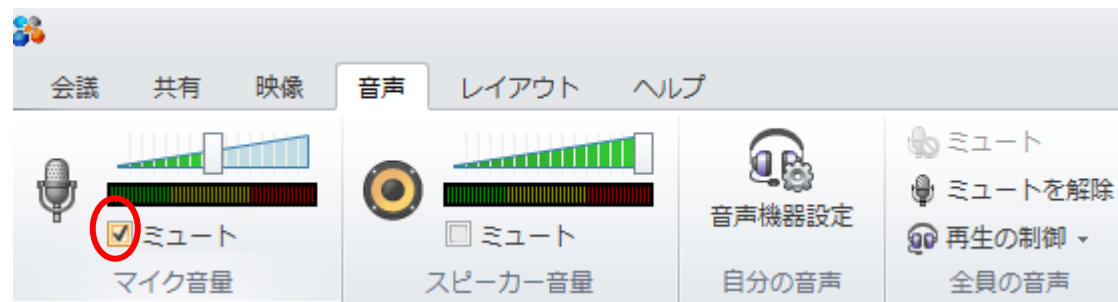


問題の切り分け手順③ー2



③OmniJoin設定の確認

- ・会議室「音声」タブで、マイクやスピーカーのミュートにチェックが入っていませんか？

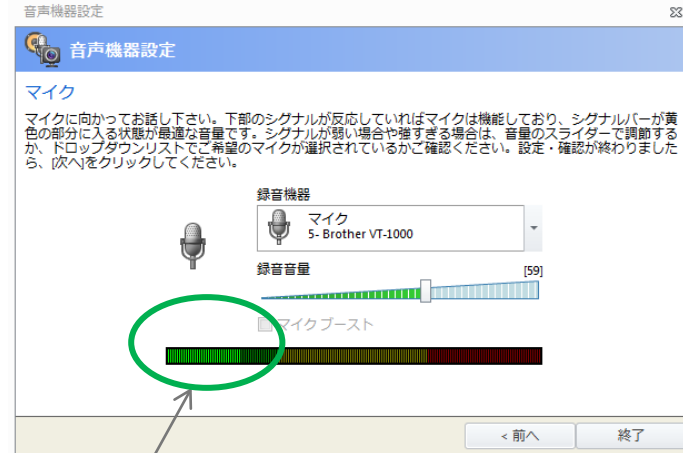
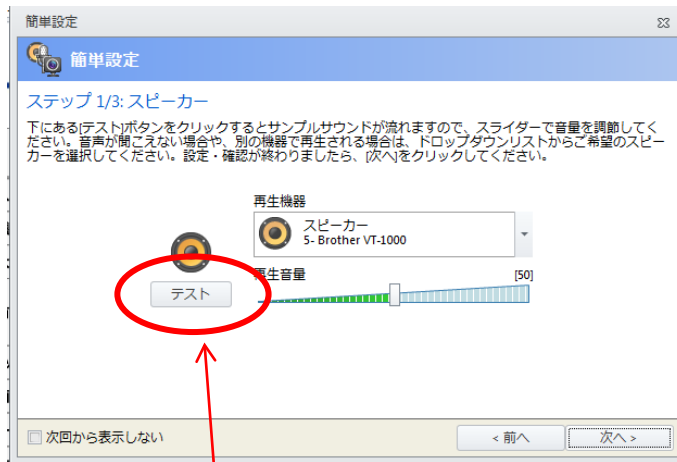


- ・上記マイクやスピーカーのボリュームレベルが小さくなっておりましたら、ボリュームレベルを上げてみて、音が聞こえるかご確認ください。
接続先の設定も同様にご確認ください。



自拠点と多拠点、どちらの問題か

「まったく音が聞こえない」という音声トラブルが発生している際、自拠点の設定が悪いのか、多拠点の設定が悪いのか、判断がつかない場合がございます。その場合は、先ほどの「音声機器設定」からのチェックをお願いします。



- ステップ1で「**テスト**」を行ったときに音声正しいデバイスで流れ、
- ステップ2で音声を発した場合に**インジケータ**が動くことをご確認ください。

上記2ステップがクリアされていれば、その拠点のパソコンは音声を通じております。他の拠点のパソコンも同様に設定をご確認ください。



管理者から遠隔で確認・設定する方法

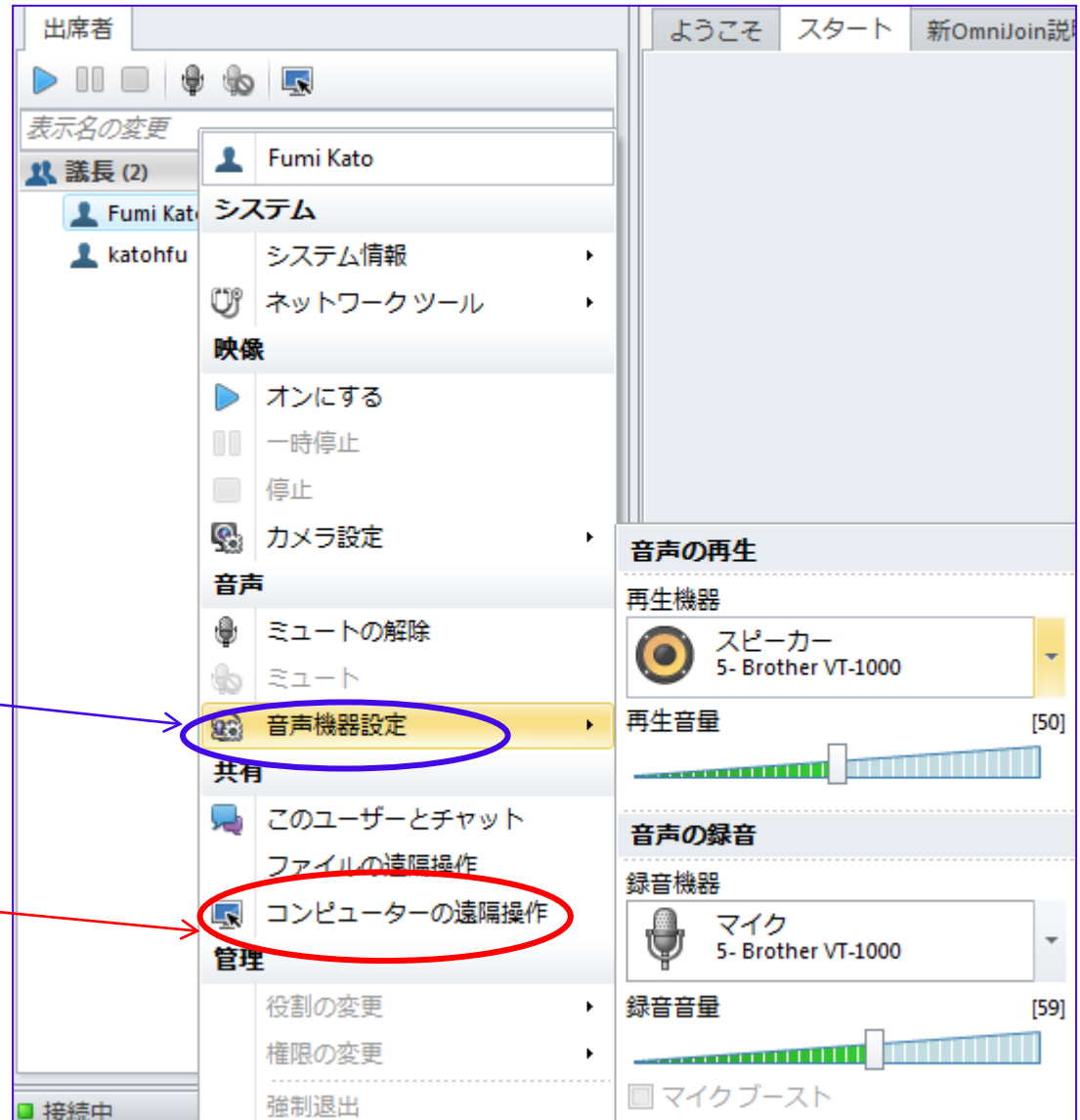
通常TV会議やWEB会議システムは、トラブルがあった時にそれぞれの拠点で解決していただくしかありません。

しかしOmniJoinは、遠隔で他拠点の設定を変更可能です。

そのためには、「議長」権限を持ったパソコンから、対象ユーザーの名前を右クリック(Windowsの場合)し、「**音声機器設定**」からデバイスを選択してください。

***さらに一步踏み込む操作**

「コンピューターの遠隔操作」を使えば、相手のパソコンごと操作できるので、OmniJoin以外の問題があった場合、遠隔サポートに役立てることができます。



音声機器接続時の注意点

◆会議中にUSBデバイスを抜き差しすると、
後から接続したものが自動的に有効になってしまいます。

事前に機器を接続してから会議室に入室するか、
接続後、会議室画面の「音声機器設定」で正しいデバイスに切り替えてください。

*よくある事例

OmniJoin会議室に入室後、VT-1000(スピーカーホン)を繋いだ。

→その後NW-1000(Webカメラ)を繋いだ。

→NW-1000にもマイクが付いているため、自動的にNW-1000のマイクに切り替わってしまった。





OmniJoin

第二部

質疑応答

*チャット画面に書き込んでください。
もしマイクをご使用になられる場合は、こちらからONにいたします。

メールでのご質問はこちらで承っております。

hanbai-market@brother.co.jp